
第十三回超次元大運動会

トマト畑

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

第十三回超次元大運動会

【Nコード】

N9654Z

【作者名】

トマト畑

【あらすじ】

これはゲームギョウ界の存亡をかけた運動会である。闘え女神達。闘え女神候補生達。全ては世界を取り戻すまで！

ルール説明（前書き）

ルールを知らずにやれば貴様死ぬぞ。

ルール説明

その吉

参加する者は[↑]体操服、[↑]体操服、[↑]スバックス、[↑]スバックス、[↑]スバックスのどれかを必ず装備しなくてはならない。改造も良い。

その式

卑怯は推奨される。寧ろ正当性を述べるものは変態。

その参

競技の最下位には罰ゲーム。
競技中以外に自らの能力を使用した場合は有無を言わず罰ゲーム。

その肆

死者が生き返るのはギャグ補正のおかげ。破壊されたグラウンドが再生するのはやっぱりギャグ補正のおかげ。

その五

勝利したチームにはゼウスにより一人一つずつ願いを叶えられる。

ルール説明（後書き）

ルールを見たとしても貴様死ぬぞ。

キャラ紹介（前書き）

キャラ紹介見なかったらカオスすぎて絶望するよ。

キャラ紹介

団紹介

メガミーズ

団長ユウ（シルバーハート）

女神のお兄ちゃん。色々な奴等から命を狙われている苦勞人。切れると冥王神と化す。

副団長ノワール（ブラックハート）

速さを求めて加速し続ける女神。女神四姉妹二女。彼女は質問に答えない。

ネプテューヌ（スパッツパープルハート）

スパッツに堕ちた女神。女神四姉妹四女。彼女の前でスパッツを侮辱する事は死を意味する。

ベール（グリーンハート）

自分の道を模索し続ける女神。女神姉妹の長女。義理の妹チ力にはいつも軽くあしらわれている。

ブラン（ホワイトハート）

皆さんご存知の初代魔法少女の女神。女神四姉妹の三女。ブレイブ・ザ・ハードを勝手にライバル視している。ハンマー的な物で…。

仁侠の候補生

ユー（シルバーシスター）

実はいたもう一人のツツコミ。死人をゾンビにして生き返らせる能力を持つ。怖いものは粘着質な愛。

副団長ネプギア（パープルシスター二代目）

プラネテューヌの女神候補生。一代目についての質問をするとドスで刺してくる仁侠魂。現在の標的はユウとユニ。ユーはお嬢。

ユニ（ブラックシスター）

ラストেশヨンの女神候補生。今大会の唯一の常識女神候補生。卑怯は正当防衛。ブレイブ・ザ・ハードとネプギアの標的。

ラム（ホワイトシスター）

ルウイーの双子女神候補生の一人。お菓子かお金をもらえば恨み晴らしてくれる仕事人。

ロム（ホワイトシスター）

ルウイーの双子の女神候補生の一人。ぬいぐるみかお金をもらえば恨みを晴らしてくれる仕事人。

ゴッタニーズ

団長5pb.(強)

その実力は女神を越すと言われている。人は気付くと彼女の思惑通りに動いている。必殺技は全ての三半規管を破壊するハウリングボイス。

副団長5pb.(弱)

特に可笑しなところもない5pb.。たまに(強)と入れ替わる。実は百合。

アイエフ(LED)

LEDをなくしたアイエフ。LEDがなくなった為に生死の境をさまよっている。LEDを彼女にあげると何かが起こるらしい。

アイエフ(携帯)

携帯をなくしたアイエフ。精神は幼女。そして何故かトリック・ザ・ハードの標的となっている。彼女に携帯をあげると割られる。

日本一

面白い事を見つけると乱入して悪化させる迷惑人。よくわからない人。正義?なにそれ面白いの?

量産型がすとx2

誰が何の為に用意したのかわからないがすと。一匹いると30匹いる。

本物は現在神によって捕縛されている。

纏めるところなる

メガミーズ

ユウ

ノワール

ブラン

ネプテューヌ

ベール

仁侠の候補生

ユイ

ネプギア

ユニ

ラム

ロム

ゴツタニーズ

5 p b . (強)

5 p b . (弱)

アイエフ（LED）
アイエフ（携帯）
がすと（量産型）
がすと（量産型）
日本一

その他役職

司会進行

神位第3位オーデイン

実況解説ファイブスディスク

開催者

神位第1位究極神ザ・ゼウス

神位第3位クラウソラス

妄想c v 田村ゆかり 見た目ぬらり よんの孫の羽衣狐
一応諸悪の根源

審判審査

教祖イストワール

教祖真つ黒ケイ

教祖真つ白ミナ

教祖真つ緑チカ

罰ゲーム実行委員会

マジック・ザ・ハード

ブレイブ・ザ・ハード

ジャッジ・ザ・ハード

トリック・ザ・ハード

アイン・ザ・ハード

ボタン・ザ・ハード

キラー・ザ・ハード

シスコン・ザ・ハード

医療班及び暗殺者

イレイザーコンパ

その他追加予定

キャラ紹介（後書き）

キャラ紹介見ても訳がわからないよ。

先ずはメンバー紹介と開会式（前書き）

本日の天気晴れ

先ずはメンバー紹介と開会式

秋もどっかに消え去り冬も狭間に消え去ろうとしている位の時にゲイムギョウ界では大イベントが行われる。その名も…。

おー「それではこれより第十三回超次元大運動会を開始しまーす！
！司会進行を勤めのは神位第三位次元神オーディン事おーちゃんが
勤めまーす！！そして解説役を勤めてくれるのは！！」

ファイ「どうもみんなのアイドル人型ゲームキャラのファイブス・
ディスク事ファイです。今回はどうして解説なんてめんどくさい役
を任されたのかわかりません。ですがマスター（シルバーシスター）
をえこひいきしますのでそこら辺は夜露死九。」

おー「いきなり解説から問題発言があつたところで続いて主催者及
び来賓の紹介に移ります。さて第十三回となります今回の大運動会
の主催者となりますのはこちらの二人！！」

くらう「紹介に預かりもうしましたあちきは神位第二位クラウソラ
スであります。以後ごみしりおきくださいませ。今回は楽しませて
もらいますさかい皆さん精一杯足掻いてくれる事を楽しみにさせて
もらいますう。」

自らの九本の尻尾をいとおしそうに撫でるクラウソラス。彼女は尻
尾の毛並みに気をつけているのである。

おー「皆さんこの人が諸悪の根源なので覚えておいてねー！！続き
まして私のお姉ちゃんです。最近恋人が出来て舞い上がっている

リア充で〜す。」

ぜうす「悠華何かあったの!?まさか怪我でもしたの!?誰にやられたのよそいつ殺すから詳しい詳細を教えなさい。お姉ちゃん心配しちゃうわよ!!(電話中)」

携帯を片手に必死にわめくのは全世界を管理する究極神。彼女は今大会に興味がほとんどない。

おー「こらー仕事中に電話するなー!!仕方ない私が変わって紹介をするね。あの電話している可笑しな娘は神位第一位究極神ザ・ゼウス事ぜうすちゃんです。リア充で〜す。爆発してください。」

トマト「容赦ないオーディン。我が娘よ。」

来賓の席に置いてあった大きめのトマト。突如口を開きだす。口はないのだけれど。

ファイ「トマトが喋りましたよ。しかもパパってどついう事ですか?」

おー「あの人はカオスエンペラートマト。この世界をうっん私達を創りだしたいわば…なんだろう?」

トマト「私は無であり有。何も気にする必要はない。そして今回は私は傍観する事を誓おう。たまにちよっかいを出す事も誓おう。」

ファイ「彼もめんどくさい人と言っわけですね。」

おー「その認識でいいと思うよ。続きましては教会の教祖を勤める四人です。彼女達には競技の審判を勤めてもらいまーす。」

いーすん「皆さんがんばってくださいね。」

ミナ「身長150cm以上の女の子は皆死んでくださいね。」

ケイ「ボクはただ写真を撮るだけだよ。無論いかがわしい奴をね。」

チカ「特にありません。」

おー「さあて個性的な審判達が出揃ったところで皆さんお待ちかねの選手達の入場です。皆さん拍手でお迎えをお願いします。先ずは第一チーム。トリを飾るのは団長シルバーハート率いる女神チームその名もメガミーズ!!」

ユウ「とりあえず俺は何から突っ込めばいいのか誰か教えてくれるとありがたいのだけど…」

ファイ「今回で彼は口から食事を取る事ができなくなるのは確定ですね。」

おー「今大会唯一のツッコミ役と言っても過言ではないからね。」

ユウ「まあ胃薬のストックがなくなるのは確定しているわけか…とりあえず頑張ります。」

おー「重みを感じられる発言だねえ。とりあえずパパ、彼に何か言う事は？」

トマト「喜べ男の娘。君の願いはよつやく叶う。」

ユウ「そう言う意味深な発言は止めてくれませんか？」

おー「続きまして副団長を勤めるブラックハート事ノワールさんです。ノワールさん何か意気込みをどうぞ。」

のわ「私に質問をしないで!!」

おー「了解です。ではケイさんノワールさんに何か言う事はありますか？」

のわ「待つてさっきの嘘だから！出番を奪わないで!!」

おー「却下です。自分の発言には気をつけてください。ではケイさんお願いします。」

ケイ「ノワール、君の今の状況…。うけるー（棒読み）。」

のわ「うわあああああ!!」

膝を着き叫び声をあげるノワール。かわいそうに…。

ファイ「ケイは相手を切れさせる事に関しては私より圧倒的に上です。ね。」

トマト「まあそれはいいから次に行こうか。」

おー「了解です。続きましてはホワイトハート事ブランさんです。」

ぶらん「私ブラン。年齢不詳の魔法少女。趣味は爆殺、特技も爆殺。今日は全力全開で頑張ります。」

片手に持つピンク色のハンマーを軽快に回すブラン。

ファイ「魔法少女ですか……。何とも言い難い。」

おー「それではみなさん一言どうぞ。」

ミナ「ブラン！お母さん見てますからねえ！がんばってくださいね！」

ブラン「頑張るわお母さん。……子供ミナの相手は疲れるわね。」

くらう「何やら見えてはいけない関係が見えた瞬間でありんしたなあ。」

おー「それは気にしない方向でお願いします。続きましてはパープルハート事ネプテューヌさん。」

ねぶ「違うな。今の私は人を超えて女神を超えた。そして今の私はスパッツだ！！！」

おー「こりゃ駄目だ。イストワール何かある？」

いーすん「じゅわっち（ウルトラ ンのお面装着）」

ファイ「へあっ！（同様にお面を装備）」

おー「えーっと。次はグリーンハート事ベールさんです。」

ベール「…どうせ私なんてキャラも安定しなくて扱いに困るような女神ですわ。」

おー「めんどくさっ、とりあえずチカさん何か言いたい事は？」

チカ「…別に。」

おー「これはめんどくさいね。これでメガミーズの紹介は終わり。続きまして女神候補生により編成されたチーム『仁侠の候補生』です。始めに出て来たのはシルバーシスター事ユーちゃんです。」

ユー「わ、私は銀髪碧眼の打ち手。な、名前はユー!!ど、どうしてこんな恥ずかしい事を言わなくちゃいけないんですか？」

今の彼女は炎髪灼眼の打手。

ファイ「マスター!!可愛いですよ!!マスター最高ですよ!!!!」

おー「こらこらあんまりえこひいきしたら駄目だつて。ユーちゃんお姉ちゃん応援してるからねえー!!隙を見て得点を入れてあげるからねえー!!」

くらう「どつちもどつちでありんすなあ。次は副団長のパープルシスターのネプギアさん。」

ギア「艶やかに咲き誇り儂げに散っていく。そんな桜の様に誇らしく、気高く潔く。外道悪党こらしめて、咲かせてみせます仁侠桜。お紹介に預かりました私がパープル、名はシスター。ネプギアとは私の事です。」

ユー「なんなのあのネプギアちゃん…。」

おー「とりあえず皆の疑問を代表してシルバーハートのユウちゃんに質問してもらいましょう。」

ユウ「俺が？まあいいけど…。ネプギアさんどうしたのそのヤクザ的な物言いは？」

ギア「シルバーハートとお見受けします。」

ユウ「そうだけど…。」

ギア「では…。お命頂戴します！」

突如日本刀を取り出してユウに斬りかかるネプギア。だがユウも刀を取り出して間一髪防ぐ。

ユウ「危なっ！？いきなり何をする！？」

ギア「しれた事を！貴方がユーちゃんにしてきた悪行三昧は全て露見しているのです！！」

ユウ「わけがわからない！！だがやるなら容赦しない。」

ユー「これはどういう事？」

ファイ「かつてあのダメ虫に吹き込んだシルバーハート悪者説がこんなところで生きるとは。詳しくは男の娘だった女神候補生を見てください。」

ロム「…もーん。」

おー「ここにはあんまり深入りしない方がいいみたいだね。」

ファイ「そうですね。続いてはゴッタニーズの紹介です。団長の5pb・(強)さんです。」

(強)「高き事最強の明かし。高き事また最強の明かし。我が名は最強5pb。」

おー「あの娘は油断できないね。」

ファイ「寧ろ嫌な予感しかしないんですけど。続いては5pb・(弱)さんです。」

(弱)「な、なんなのここ…。ボクがもう一人いるような気がするんだけど。」

(強)「ボクと君は違うよ。ボクは埠頭の頂きに立っているのだから。」

(弱)「とりあえず死にたくはないかな。ユーはここにはいないんだね？少し残念かなあ。でも可愛い女の子がいっぱいいるのは嬉しい誤算かな？」

おー「では続いてはアイエフさん纏めて二人どうぞ！」

LED「きゃほほほほほほほーい！ー！」

携帯「うわああああああああああああああん！ー！」

ファイ「これは駄目ですね。はい、では次量産型がすとさん。こちらも二人ですか。」

がすと「量産型がすとですのー。」

おー「作者不明の謎のがすと。いったい誰が？」

ファイ「とまあ謎も深まってきたところで次。次は日本一さんなんですが…。」

日本一「ジャステイスキイイイイイクツウ!!」

ユウ「また面倒なのが!!」

ファイ「何やらシルバーハートとダメ虫の闘いに参加しているようですが…。」

日本一「だって面白そうじゃない!!そこっ!!」

ユウ「しまっ!!」

ギア「……………!?!」

ネプ「ちよつと今あのナウムネお兄様に傷をつけたわよ。」

ノワ「殺すか…。」

ベール「ですわね。」

ブラン「ちよつとお前裏に来いよ。」

日本一「え!?!」

ここからは音声のみでお楽しみください。

先ずはメンバー紹介と開会式（後書き）

今回は初回特典として罰ゲームはなし。

死者

日本一

軽傷

コウ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9654z/>

第十三回超次元大運動会

2011年12月30日01時47分発行